

- 〈徳〉 **やさしく**～夢を持ち続ける子の育成  
 〈知〉 **ただしく**～自ら進んで学ぶ子の育成  
 〈体〉 **たくましく**～最後までやりとげる子の育成

## 『2学期がはじまりました』

校長 田 仲 英 明

2学期がはじまり児童生徒たちが元気に登校しています。まず、朝一番に6年生の男の子たちが児童生徒玄関に息を切らし走ってきます。学校が好きなんだなあと嬉しく感じる瞬間です。また、ある児童は、登校後すぐ玄関で「教頭先生、勉強しよう！」と声をかけ、4月初日には想像できないような意欲的な発言が聞かれるようになりました。

さて、2学期も学校が好きで意欲をみせてくれる子どもを大切にしていくための参考にと願い、『よみうり寸評』（読売新聞夕刊）に載っていたコラムを紹介いたします。

学生に甘い先生と辛い先生、どちらが好ましいか。かの湯川秀樹博士に「甘さと辛さ」と題して両者を比較したエッセーがある。

思ったよりよい点をつけてくれた先生には学生は好感を持ち、ひいてはよく勉強するようになる場合が多い。よって〈点の甘い方が教育的効果は大きそうに私は思える〉と博士はいう。

3つ叱って5つ褒め7つ教えて子は育つ、と子育ての要諦を説くことわざもある。叱るより褒める—それを自ずと実践するのが孫に対しての時の祖父母だろう。

「スマホ出て抱いた初孫歳3つ」時事川柳の秀句である。コロナ禍に伴う行動制限が3年ぶりに解かれたこのお盆休み、手放しの賛辞が津々浦々で飛び交ったに違いない。

思えば職場や大学でも生身の交流が激減した。一組の孫と祖父母の再会の背後には、あまたの直接的な人間関係の復活があるといえる。きょうも一言、後身に褒め言葉を。そうした心がけは、休み明けの憂鬱を紛らしてもくれるだろう。

「褒めてのばす」は昨今の教育では定説になりつつあります。しかし、一方で「プレバト!!」というTV番組はご存知でしょうか。私は、番組の中の俳句のコーナーをよく見ます。それは、夏井いつき先生の評価が素晴らしいからです。なかなか厳しい評価です。それでも、的を射た適切なアドバイスと劇的な添削により、伝えたいことが明確になり、作品のレベルがぐっと上がると、みんなが納得し、脱帽してしまうのが視聴者にとっても受けていると思います。

星の丘小中学校では、2学期制となっておりますので、前期の評価、通知表が児童生徒に渡されるのは10月7日の予定です。児童生徒の成長を願い評価することは間違いありません。親御さんや本人にとって次へのステップにつながる甘くも厳しくもある評価となるようにしたいと考えております。

この2学期には、「フェスティバル」「校外学習」等々の学校行事が予定されています。それぞれ感染状況により、対策を講じ、知恵を絞り、星の丘の教育活動を進めてまいります。感染は、増えたまま高止まりが続いており、心配は尽きませんが、知恵を出し合い工夫して児童生徒の学びを止めないようにしていきたいと考えております。どうぞ児童相談所の皆様・バウムハウス職員の皆様・サポーターの先生方・地域の皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

### 【特別支援基礎コーナー】 感情コントロールの4ステップ

感情を爆発させてトラブルが！そんな時にはまず、大人も子どもも水を飲んで深呼吸が有効です。その後、ゆっくりと話を聞いて、勘違いや考え違いの「通訳」をします。

1. 人格否定など、怒りが長引く声かけをしない
2. 感情の爆発の原因を探し、刺激をシャットアウトし、別のことに気をそらす
3. 傾聴・共感・承認
4. 事実確認、感情の整理、解決方法を一緒に考える

# より良い関係づくりのために

8月23日（火）バウムハウスの心理療法士の石垣林太郎さんと丸山桜子さんを講師にお招きし、児童生徒理解のための学習会を行いました。

丸山心理士からは

## 「心理検査（P-F スタディ）の見方」

についてお話をいただきました。欲求不満度を見るための検査で、イラストであらわされた様々な場面での登場人物のセリフを考えて記入するというもので、体験もさせてもらいましたが、興味深い検査でした。結果の数値がすべてではありませんが、子どもの特徴を理解し、より適切な対応につなげる一助となるものだと思います。その他の検査結果の理解と併せて活用していきたいと思います。



石垣心理士からは、

## 「怒りとの上手な付き合い方

### ～アンガーマネジメント～

についてのお話をいただきました。人間であればだれもが持っている『怒り』という感情をうまくコントロールするというのがアンガーマネジメントの考えです。ストレス社会と言われる現代を生きる我々にとって、ストレスによる自分の感情や体の状況に気づき、落ち着かせる方法や、イライラしやすい自分の考えの癖を知り、考え方を変化していく方法などを学べたことは、とても価値あるものとなりました。自らが実践することはもちろんのこと、不安定になってイライラする子どもたちに落ち着く方法を伝えていくなど、今後活用していけることと思います。



# 9月行事予定

- 1日（木） 不審者避難訓練
- 2日（金） 秋の野外活動  
防災センター見学（小）  
パークゴルフ（中）
- 5日（月） 小中部会
- 6日（火） 実務者会議
- 7日（水） きつつきの会（よみきかせ）
- 8日（木） 校務部会
- 9日（金） 児童生徒会  
行事調整委員会
- 12日（月） 小中部会
- 13日（火） 研修日
- 14日（水） 中3学力テスト（総合A）
- 15日（木） 後期認証式
- 16日（金） 収穫祭（中）  
北黄金貝塚見学（小6）  
児童生徒会（新）  
定例校長会
- 19日（月） 敬老の日
- 20日（火） フェスティバル特別日課  
研修日
- 21日（水） 小中部会
- 22日（木） 児童生徒会  
（中）果物狩り  
職員会議
- 23日（金） 秋分の日
- 26日（月） 小中部会  
定例教頭会
- 27日（火） 児童生徒会（昼休み）  
市教研
- 28日（水） フェスティバル総練習  
バウムハウス公開日
- 29日（木） BASE会議
- 30日（金） フェスティバル前日準備  
リハーサル  
児童生徒会



## 実りの季節



小学校、中学校ともに行っている栽培活動。春から育ててきた作物たちが実りの時を迎えています。青々としたピーマン、真っ赤なトマト、実がぎっしり詰まったトウモロコシなど……。それを調理している教室からは、良い香りが漂ってきて、子どもたちの「おいしい！」という声が聞こえてきます。

種をまき→丁寧に世話をする→収穫したものを調理する→食べるという一連の活動の経験が子どもたちの心の栄養となり、成長の助けとなっていくことと思っています。

